



平成 23 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ミ サ ワ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 三 澤 太  
(コード番号：3169 東証マザーズ)  
問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 鈴 木 裕 之  
TEL. 028-653-1621

## 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 23 年 12 月 22 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、  
なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては  
別紙のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

決算期 項目	平成 24 年 1 月期 (予想)		平成 23 年 1 月期 (実績)		平成 24 年 1 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		
	構成比	前年比	構成比	構成比	構成比		
売上高	4,570	100.0	120.6	3,786	100.0	3,360	100.0
営業利益	387	8.4	184.4	210	5.5	315	9.4
経常利益	379	8.3	198.3	191	5.0	306	9.1
当期(四半期)純利益	204	4.4	352.7	58	1.5	152	4.5
1株当たり 当期(四半期)純利益	124円73銭		1,452円02銭 (36円30銭)		95円29銭		
1株当たり配当金	—		—		—		

- (注) 1. 平成 23 年 1 月期 (実績) 及び平成 24 年 1 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均株式数により算出しております。
2. 平成 24 年 1 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数 (380,000 株) を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。なお当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出に関連する第三者割当増資分 (最大 90,000 株) は含まれておりません。
3. 当社は平成 23 年 8 月 31 日付で株式 1 株につき 40 株の株式分割を行っております。そこで当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たり指標の数値は ( ) 内に記載しております。

以上



## 平成24年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年12月22日

上場会社名 株式会社ミサワ

上場取引所 東京証券取引所マザーズ

コード番号 3169

URL <http://www.unico-fan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之

TEL (028) 653-1621

四半期報告書提出予定日 -

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年1月期第3四半期の連結業績（平成23年2月1日～平成23年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第3四半期	3,360	-	315	-	306	-	152	-
23年1月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年1月期第3四半期	95	29	-	-
23年1月期第3四半期	-	-	-	-

(注) 1. 平成24年1月期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年1月期第3四半期の数値は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
24年1月期第3四半期	1,938		237		12.3	148 60
23年1月期	1,743		82		4.8	2,073 92

(参考) 自己資本 24年1月期第3四半期 222百万円 23年1月期 69百万円

(注) 当社は、平成23年8月31日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年1月期	-	-	0	00	-	-	0	00
24年1月期	-	-	0	00	-	-	-	-
24年1月期(予想)	-	-	-	-	-	-	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成24年1月期の連結業績予想（平成23年2月1日～平成24年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,570	20.6	387	84.4	379	98.3	204	252.7	124 73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。)

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年1月期3Q	1,600,000株	23年1月期	40,000株
24年1月期3Q	一株	23年1月期	一株
24年1月期3Q	1,600,000株	23年1月期3Q	40,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成23年8月31日付で普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
(4) 中長期的な会社の経営戦略 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国における経済成長や政府の景気抑揚策の効果などを背景に企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故がわが国全体に甚大な被害をもたらし、欧州諸国の財政問題やそれに伴う円高及び株安の進行等により、先行き不透明な経済環境が続いております。

このような経営環境のなかで当社グループは、unico事業について「鹿児島店」が新規オープン・「仙台店」が集客力向上のため仙台パルコへ移転し、また、新たな物流の拠点として「兵庫物流センター」を開設し、収益拡大のための取り組みを行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、unico事業において、前連結会計年度において新規出店した「西宮店」・「丸の内店」及び第2四半期連結累計期間において新規出店した「鹿児島店」の売上高が寄与したことにより売上高は3,252,009千円となりました。また、food事業において、前連結会計年度においてリニューアルした「Bistro oeuf oeuf」の売上高が増加したことにより売上高は108,349千円となりました。その結果、売上高は3,360,359千円、営業利益は315,127千円、経常利益は306,178千円となりましたが、四半期純利益は情報セキュリティ対策費及び災害による損失等の計上もあり152,465千円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より194,565千円増加し、1,938,068千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少167,024千円があった一方、店舗数の増加等によるたな卸資産の増加274,586千円、売上債権の増加53,485千円並びに敷金及び保証金の増加28,968千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より39,758千円増加し、1,700,305千円となりました。これは主に、支払サイト変更に伴う仕入債務の減少89,387千円、未払債務の減少31,763千円があった一方、新規出店等を目的とした借入金の増加132,044千円及び賞与引当金の増加36,288千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より154,806千円増加し、237,763千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加152,465千円等によるものであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローにより170,945千円を使用し、新規出店等の投資活動によるキャッシュ・フローにより121,123千円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローにより125,580千円の獲得があったことにより、前連結会計年度末に比べ167,024千円減少し114,914千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、使用した資金は170,945千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益268,556千円、減価償却費69,428千円の計上、賞与引当金の増加36,288千円及び前受金の増加15,989千円による資金獲得があった一方、売上債権の増加53,474千円、たな卸資産の増加272,880千円、仕入債務の減少89,692千円、未払金の減少38,808千円及び法人税等の支払額125,041千円等の資金支出があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は121,123千円となりました。これは主に、新規出店及び設備の増強等にかかる有形固定資産の取得による支出70,107千円、敷金及び保証金の差入による支出44,345千円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、得られた資金は125,580千円となりました。これは主に、長期借入による収入200,000千円、短期借入金の増加263,471千円があった一方、長期借入金の返済による支出331,427千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、停滞する経済環境から一部で消費意欲の減退やそれに伴う低価格競争が見られるなど、厳しい環境が続いております。

このような経営環境のなかで当社グループは、主たる事業であるunico事業において、商品を提供する際の価格とそのデザインや機能のバランスを重視し、付加価値に見合った納得感のある価格を実現しております。

当事業年度においては、新たに3店舗を出店しており、既存店も堅調に推移しております。その結果、平成24年1月期の連結業績予想としては、売上高4,570百万円を予想しております。

また費用面においては、オンラインショップにおけるマーケティングの強化及び高感度な商品デザインの充実のため人員増加を計画しており、人件費の増加を見込んでおります。その結果、営業利益387百万円、経常利益379百万円、当期純利益204百万円を予想しております。

なお、連結業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(4) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、今後も引き続き成長性を維持していくために、「自分にも地球にも心地良い、健康で感性豊かなライフスタイルの普及」という経営理念のもと、「モノ」よりも「コト」をお客様に提案し、お客様にとっての「好感度No.1 ライフスタイルショップ」になることにより、最終的にはライフタイムバリュー（顧客の生涯価値）を獲得することを中長期的な目標として、以下の経営戦略に重点を置いて、経営資源を投入し、事業を推進してまいります。

① 効率的な新規店舗の出店

出店計画に基づき、メインターゲットとなる女性の集客が見込まれるエリアや商業施設への出店を推進し、全国的に地域性を活かしたライフスタイルを提案する個性的な店舗を展開してまいります。あわせて、店舗における接客マナー・アフターサービスの継続的な強化も引き続き行ってまいります。

② 新ブランドの立ち上げ

現在の20代中盤から30代をメインターゲットにしているunicoブランドに加え、更にクオリティを求める40代以上をターゲットとする新ブランドの立ち上げにより、新たなマーケットの開拓を行ってまいります。

③ 社内システムの強化

将来の中長期的な出店計画や新ブランドの立ち上げに向けて、優秀な人材の確保及び育成、並びに効率的な業務運営のための社内システムの構築やマネジメントレベルの向上施策を実施してまいります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算の貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

① 税金費用の計算方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	114,914	281,939
売掛金	226,980	173,494
商品及び製品	719,201	457,415
仕掛品	8,555	2,200
原材料及び貯蔵品	36,670	30,224
繰延税金資産	19,310	19,310
その他	72,604	76,944
貸倒引当金	△826	△654
流動資産合計	1,197,411	1,040,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	364,954	370,168
その他(純額)	48,449	37,044
有形固定資産合計	413,404	407,212
無形固定資産		
	24,648	14,745
投資その他の資産		
繰延税金資産	10,400	10,400
敷金及び保証金	286,453	257,484
その他	5,751	12,784
投資その他の資産合計	302,604	280,669
固定資産合計	740,657	702,627
資産合計	1,938,068	1,743,503
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	131,584	220,972
短期借入金	366,236	102,765
1年内返済予定の長期借入金	369,840	384,367
未払法人税等	83,952	90,986
賞与引当金	57,504	21,216
その他	294,312	324,795
流動負債合計	1,303,431	1,145,103
固定負債		
長期借入金	370,225	487,125
引当金	6,836	6,989
資産除去債務	17,460	17,285
その他	2,352	4,042
固定負債合計	396,874	515,442
負債合計	1,700,305	1,660,546

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金	202,392	49,926
株主資本合計	222,392	69,926
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	15,371	13,029
評価・換算差額等合計	15,371	13,029
純資産合計	237,763	82,956
負債純資産合計	1,938,068	1,743,503



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)
売上高	3,360,359
売上原価	1,305,485
売上総利益	2,054,873
販売費及び一般管理費	1,739,746
営業利益	315,127
営業外収益	
受取利息	212
受取配当金	100
デリバティブ評価益	7,329
保険解約返戻金	6,480
その他	5,772
営業外収益合計	19,893
営業外費用	
支払利息	10,814
為替差損	16,723
その他	1,304
営業外費用合計	28,842
経常利益	306,178
特別損失	
固定資産除却損	1,964
災害による損失	4,802
情報セキュリティ対策費	27,240
その他	3,614
特別損失合計	37,622
税金等調整前四半期純利益	268,556
法人税等	116,091
少数株主損益調整前四半期純利益	152,465
四半期純利益	152,465

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う商品及び製品・サービスを基礎に、報告セグメントを「unico事業」と「food事業」とに分類しております。各事業は、それぞれの取り扱う商品及び製品・サービスについて店舗運営を展開しており、その内容につきましては次のとおりであります。

unico事業	家具・ファブリック等及びインテリア・雑貨等の販売・製造
food事業	産地直送の新鮮な食材を使用した料理を提供する飲食店舗の展開

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,252,009	108,349	3,360,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,252,009	108,349	3,360,359
セグメント利益又は損失(△)	321,785	△6,658	315,127

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

当連結会計年度から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比は記載しておりません。

##### ① 生産実績

事業の種類別 セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	
	生産高(千円)	構成比(%)
unico事業	80,806	100.0
food事業	—	—
合計	80,806	100.0

(注) 記載金額には消費税等は含まれておりません。

##### ② 仕入実績

事業の種類別 セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	
	仕入高(千円)	構成比(%)
unico事業	1,515,731	97.8
food事業	33,717	2.2
合計	1,549,449	100.0

(注) 記載金額には消費税等は含まれておりません。

##### ③ 受注状況

当社グループ(当社及び連結子会社)は見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

##### ④ 販売実績

事業の種類別 セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)
unico事業	3,252,009	96.8
food事業	108,349	3.2
合計	3,360,359	100.0

(注) 記載金額には消費税等は含まれておりません。